

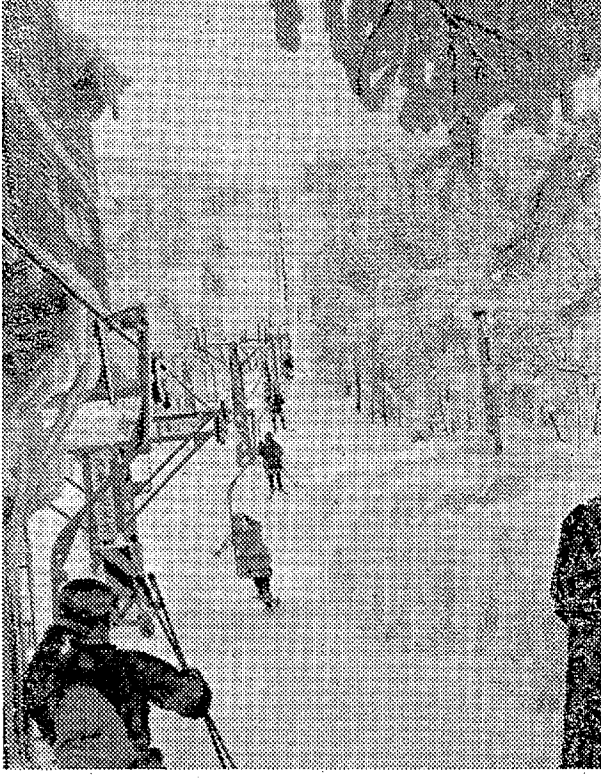
# いわき民報

発行所 平市田町68  
 いわき民報社  
 社長 野沢武蔵  
 電話(代表)4161番  
 © いわき民報社 1961

木材の百貨店  
 一般建築材 ベニヤ板類  
 新建築材 断熱材  
 株式会社 丸一材木店  
 工場 電話(代)五八五八  
 自販部 平市五丁目四六六  
 支店 平市五丁目三九〇

## 日曜特集

三日月の輝きに銀色 白銀の王者 気力リノスキーヤーでにぎわう上の台ゲレンデ付近



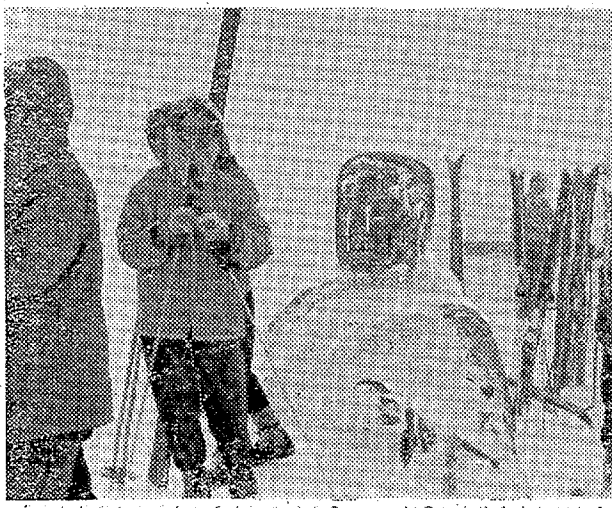
パラダイス・リフトに乗ってゲレンデへいそぐ

### 雪の蔵平へスキー行 平ベルガクラブ

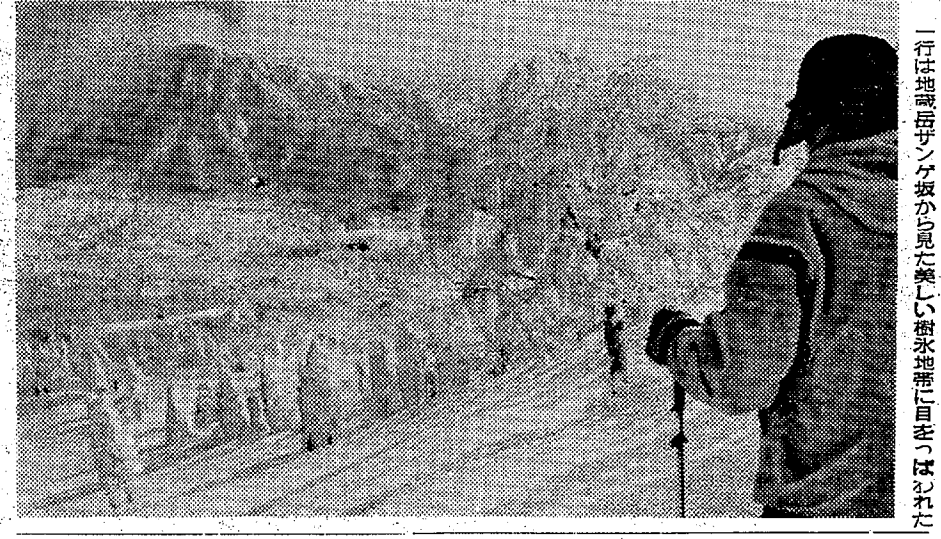
○「スキーヤー」は全国的な傾向である。若い人々の間でスキーを語れないものは話題を失い、時代おくれの観をえらる。地元の年間を通じてスキーヤーの人口が千人を越える。スキーヤーとして若い世代のインボルトをいっべき。

○「冬百万人のスキー客誘致」これは山形県の冬のブランドである。県庁が交通バスの会社を観光協会、旅館業を動員し、道路の除雪、サービススキー場の設備改善に知恵をこらしている。一月初めから二月末のシーズンオフまで、百万人のスキーヤーを呼び寄せるのには、一日二万人以上のスキーヤーの動員が必要である。

○「なるほど」夢かずに登れる蔵平の蔵平と、スキーヤーのシーズンオフまで、標高千八百メートル、バス、ケーブルカー、リフトと連続して頂上まで運んでくれる。延喜寺大石のゲレンデを始め、登山リフト九ヶ所、スキー



地蔵岳(標高1800m)山頂の地蔵尊前で一休み



一行は地蔵岳サンゲ坂から見た美しい樹氷地帯に目を奪われた

### きょうの話

スキーマスター 熱の上昇に正比例して、スキーにまつての事故は多くなるといふ。なにかわしい現象である。昔はスキーによるケガは、スポーツのうまさはともなわず、ジャンプや滑降競技など以外にゲレンデの事故はほとんど無かった。おそろしく千人に三人くらいは比率があった。最近ではゲレンデの事故が多くなり、百人に十人という驚くべき数字だ。

△ なぜこんなによくケガ人が出るのだろうか。スキーヤーが多くなると、ゲレンデというシチュエーション、自分も転倒しなすも突進して来る。日誌俳優の右藤裕次郎君が、右足骨折、腰で突進された。右足骨折、二カ月のケガをしたという。まことに迷惑な事故である。

△ スキーにまつている全員のエッジも、ケガを大きくしている。ゲレンデで練習する初心者は、エッジがかえって危険である。ストックも転倒でけいれいな金属製のパイプを用いるようになったが、竹と違って弾力がないから、ちょっとした衝動でもボキーン、ボキーンと折れる強さがある。コーチの方法も単に「すべり」に重点がおかれていたようだが、大斜面や急斜面の滑降に無理が出る。スキーにケガを無くすると、もっと快適なものになる。



外気は氷点下10度前後、パラダイスロッジは赤々とタンクの火がもえ自慢話に花が咲く

## 祝 大野中学校増築工事落成 披露式 1月30日

御礼のごあいさつ  
 符習久がった特別教室を完成していただき、学校も父兄も感謝しております。町並びに地元各位の御協力に厚く御礼申し上げます。  
 大野中学校長 荒川 栄  
 P.T.A会長 鈴木 一

工事施工者  
 土木建築請負業  
 八巻 秀一  
 四倉町仲町(電話四四七)

衆議院議員  
 木村 守江  
 大野農業協同組合  
 組合長 鈴木 文夫  
 専務 吉田 正直

四倉町内学校長会  
 福島県人権擁護委員  
 木田 織江  
 四倉町下柳生(電話山小六八)  
 四倉町教育委員  
 草野 一  
 四倉町中島

山田小湊郵便局長  
 大谷 一郎  
 四倉町山田小湊(電話六〇〇)  
 体育指導委員  
 草野 博  
 四倉町玉山(電話山小六八)  
 四倉町助役  
 西山 徳一  
 四倉町玉山林崎

大野地区選出町議会議員  
 木村 徳治  
 四倉町山田小湊  
 西山 直次  
 四倉町下柳生(電話山小六八)  
 高木 憲平  
 四倉町駒形字戸沢  
 長谷川 義雄  
 四倉町字中島一七

馬 上 豊  
 玉山温泉(電話山小六八)  
 左藤 栄  
 四倉町上柳生字下七





